

# Tintri T1000™ オールフラッシュアレイ



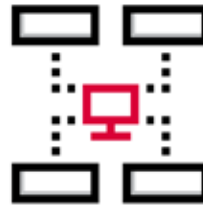
## ティントリのDNAを受け継ぎ 手軽に導入できるエントリーモデル



ティントリのバリューを  
エントリー価格で



レプリケーション  
バンドル

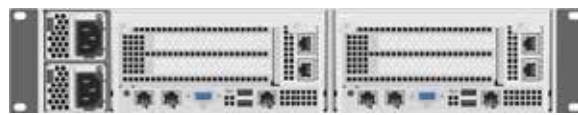


小規模VDI環境に



大規模導入

- エンタープライズクラウドと仮想化に最適化したTintri OSを搭載
- EC6000シリーズと共通のハードウェアプラットフォームを採用
- これまでのTintriと変わらないバリューをそのまま享受
- ティントリならではの！仮想マシン単位での
  - 自動QoS
  - データの保護
  - ワークロードの管理
  - パフォーマンスの見える化
- 保存データの遠隔地複製を標準サポート
- 複数の拠点に設置したTintri T1000からセンターのTintri EC6000にデータの複製を集中化
- データの重複除外と圧縮で、従来ストレージと比較して95%WAN帯域幅を削減した効率の良い遠隔地複製を実現
- レプリケーションのスケジュールを仮想マシン単位で設定するとともに、リストアも必要な仮想マシンだけ行うことで、WAN帯域のデータ転送量を削減
- 仮想デスクトップ（VDI）単位で最適化された自動QoSで、ブートストームの問題を完全に解消
- 「小規模だから」と諦めていた環境にもTintriを導入可能に
- 手動QoSでVDIごとに性能保証を設定することが可能
- インライン重複排除とデータ圧縮で、データ量を最小限に縮小
- Tintriの大規模導入の前に実環境 / 実サイトでテストしてみたいニーズに対応
- 検証テストで導入したT1000をそのまま実運用として利用可能
- 拡張する際は、ノードを追加して複数台をTintri Global Centerで一元管理可能
- コンピューティングとストレージが物理的に分かれていることで柔軟な拡張にも対応



## Tintri T1000

フラッシュ	論理実効容量 <sup>a,b,e</sup>	10 TB / 9 TiB
	物理容量 <sup>a</sup>	3.1 TB / 2.7 TiB
VM 密度	VM数 (最大)	100
	vDisk数 (最大)	300
搭載ネットワークポート (コントローラーあたり)	DATA ポート	2x 10GbE
	ADMIN ポート	2x 1GbE
	REPL ポート	2x 1/10GbE
オプションネットワークポート (コントローラーあたり)	DATA ポート	2x 10GbE SFP+
物理仕様	寸法 (HxWxD)	2U, 89mm x 483mm x 880mm
	最大実装時の重量	31.4 kg
	ワット (標準/最大)	405 / 1100
	動作時の温度	5 °C ~ 40 °C
	非動作時の温度	-40 °C ~ 70 °C
	動作時の湿度	8% ~ 90% (結露なし)
	非動作時の湿度	5% ~ 95% (結露なし)
システム	オールフラッシュ、デュアルコントローラー	(アクティブ/スタンバイ)
ソフトウェア	Tintri OS	Tintri OS 4.3.4.x以上必須
バンドルソフトウェア	付属ソフト	同期/非同期レプリケーション IPMIリモート管理 256ビットAESデータ暗号化
仮想化	プロトコルサポート	NFS及びSMB3
	管理	Tintri Global Center Standard (付属)
	分析	Tintri Analytics (サポート契約が必要)
製品サポート	管理	Tintri Global Center、IPMI (リモート)、Web インターフェイス (https)、KVM (コンソール)、SMTP および SNMP (アラート用)
	サポート	自動化された Phone Home およびケース作成によるプロアクティブなサポート
規格	UL/CSA/EN/IEC 60950-1, EMC Emissions Class A, FCC, IC, CE, VCCI, RCM, BSMI, EAC, KC, ROHS, REACH, WEEE	

- a. 1 TB = 1,000,000,000,000 バイト、1 PB = 1,000,000,000,000,000 バイト = 1000 TB、1 TiB = 240 バイト (1,099,511,627,776 バイト)、1 PiB = 250 バイト (1,125,899,906,842,624 バイト = 1,024 TiB) です。
- b. 実効容量は、データ保護 (ダブルパリティ RAID-6、スベア、メタデータ オーバーヘッド) とデータ削減 (インラインの重複排除と圧縮) 後の値です。ただし、シンプロビジョニングによる効果は含まれていません。データ削減により、一般的に、3 ~ 5 倍の容量が節約されます。
- c. 毎時スナップショット 8 個、日次スナップショット 7 個、週次スナップショット 4 個の最小ポリシーを想定しています。すべてのスナップショットはフルリカバリとして論理的に示されたものです。
- d. Tintri スケールアウトでは、ストレージを単一の結合されたプールとして簡単に管理できます。ハイブリッドとオールフラッシュ、既存のシステムと将来的なシステムなど、さまざまな種類のストレージをまとめることができます。19TB のオールフラッシュアレイからはじめて、最大 40 PB、480,000 台の仮想マシンにまで拡張できます。
- e. 最大実効容量は、最大容量を搭載した EC6000 シリーズオールフラッシュシステム 64 ノードで構成されるプールを想定しています。ただし、これと同等のモデル、容量、オールフラッシュまたはハイブリッドの構成にする必要はありません。